

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 08 月 3 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部・経済学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 7 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	スペイン
留学先大学	バレンシア大学(日本語名) Universitat de Valencia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	スペイン語/英語・スペイン語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	3/4 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 経済学部 現地言語での名称: Facultat de Economia ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～2 月下旬 2 学期: 3 月上旬～6 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	55,000 人
創立年	1499 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€)	日本円	備考
授業料	0	0 円	明治大学の学費を支払う代わりにバレンシア大学の学費は免除される。
宿舍費	5,190	880,000 円	月 459€ × 10 ヶ月: 4590€ + α Tenant Protection fee: 175€ Administration fee: 350€ Cleaning fee: 75€
食費	3,000	500,000 円	月 50,000 円(週一回の外食を含む) × 10 ヶ月: 500,000 円
図書費	30	5,000 円	語学学校の教材一冊
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	140	24,000 円	1～4 ヶ月目: 月 15€ 5～11 ヶ月目: 月 10€ + α SIM カード代: 5€ eSIM 代: 5€
現地交通費	30	5,000 円	Valenbici 年間登録費 (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	300	50,000 円	冬は想像以上に寒く、現地でダウンジャケットやその他の冬服を購入しました。
医療費	0	0 円	2 回病院にかかりましたが、スペインの保険が適用されたので支払いはありませんでした。
保険費	1240	211,079 円	形態: 明治大学指定海外旅行保険: 104,780 円 スペインの保険会社の保険: 106,299 円
渡航旅費	1,190	202,405 円	住路: 104,360 円 Tokyo---Madrid: 97,860 円 Madrid---Valencia: 6,500 円 復路: 98,045 円 Valencia---Madrid: 3,600 円 Madrid---Tokyo: 94,445 円
ビザ申請費	45	7,700 円	健康診断証発行費用: 7,700 円
雑費	300	50,000 円	想定外の問題に伴うコスト
その他	384	65,000 円	語学学校費(各学期 192€)
その他	3,000	500,000 円	旅費(航空券代+宿泊費+食事代+交通費+お土産代)+娯楽費
合計	15,000	2,500,000 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:Tokyo 目的地:Madrid 経由地:Beijing

復路 出発地:Madrid 目的地:Tokyo 経由地:Doha

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: Air China(Tokyo---Beijing)・(Beijing---Madrid) 料金:97,860 円

復路 航空会社: Iberia(Madrid---Doha)+ Qatar Airways(Doha---Tokyo) 料金:94,445 円 ∴
合計:192,305 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名: skyticket(往路), Skyscanner(復路))

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☐ 学生寮(寮の名前:) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

HousingAnywhere と Spotahome で条件の絞り込み機能などを活用して物件を見つける。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分を含む数人の部屋のベッドでの Bed bug の発生や部屋のドア・キッチンの蛇口の破損などのトラブルがあったものの、対応は比較的迅速に行われた。

必ずしも問題が生じないとは限らないため、予期せぬ事態を想定しておくのが望ましい。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: アパートメントの近隣にある総合病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 現地で知り合った日本人の友達、フラットメイト等々)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

予め出発前に登録していた外務省の「たびレジ」(海外安全情報をメールで配信するサービス)を確認するようにしていた。普段の外出や旅行の際には、身分証明書・公共交通系 IC カード・現金・クレジットカードを入れた財布、携帯電話、充電器やケーブルといった必要最低限の物だけを持ち歩いていた。また、財布や携帯電話といった貴重品はズボンの前ポケットに入れ、電車内や人混みでは鞆を前に抱えるなど、防犯対策を徹底していた。犯罪に巻き込まれることは特になかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートメントのインターネット環境は安定しており、特に不便はなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

バレンシア到着後は三菱 UFJ のクレジットカードを利用していたが、フラットメイトの紹介でデジタル銀行及び海外送金サービスを提供する Revolut の口座を開設した。その後は、親に日本の自分の銀行口座へ毎月振り込んでもらい、その資金をクレジットカードを通じて Revolut 口座にチャージしていた。以降は、基本的に Revolut のデビットカードで支払いを行っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

アジアンショップがあるので、大抵のものは調達可能である。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
36 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Comunicació en llengua anglesa per a turisme II	観光学のための英語によるコミュニケーション II
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in Tourism
履修期間	2024/7/8~12
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	観光分野に特化した実践的英語力を養うため、演習中心で進められる。ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを多く取り入れ、主体的に学ぶ姿勢が求められる。授業外での自主学習や課題も重視される。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	LARCHEN COSTUCHEN, ALEXIA/PUCHAL TEROL, VICTORIA
授業内容	観光の歴史、広報戦略、ホテル経営、持続可能な観光、文化遺産やツアーガイド業務など、観光業界に直結するテーマを幅広く扱う。専門用語や実践的表現を習得し、国際的な現場での対応力を高めることを目的とする。
試験・課題等	評価は筆記試験・口頭試験・授業参加で構成される。筆記はリスニング・読解・作文を含み、口頭は発表と対話能力を重視する。授業内活動や学期プロジェクトも加点対象となり、出席率が成績評価に大きく影響する。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Economia de la Unió Europea	EU 経済学
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in International Business
履修期間	2024/7/8~12
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週ごとに講義と演習が行われ、統計資料や政策事例を用いた実践的な分析が取り入れられる。理論理解と同時に、現実の問題に即して考える力を養う構成となっている。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	ESTEVE PEREZ, SILVIANO
授業内容	欧州統合の歴史を起点に、単一市場、通貨統合、共通農業政策、競争政策、地域政策など、EU 経済の主要分野を幅広く学ぶ。政策の成果や課題を多角的に検討し、統合の意義を理解することを目指す。
試験・課題等	期末試験(60%)では理論的知識が問われ、授業内活動(40%)では発表や課題への積極的参加が評価される。知識と実践力の双方が求められるバランスの取れた評価方法である。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Història econòmica II	スペイン経済史 II
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in Economics
履修期間	2024/7/8~12
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義を基盤としつつ、文献読解や統計データ分析、ディスカッションを組み合わせ、学生が主体的に歴史を批判的に考察することを重視する形式が採用されている。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	GONZALEZ AGUDO, DAVID
授業内容	19 世紀以降のスペイン経済を対象とし、産業化の進展、フランコ体制下の経済政策、民主化後や EU 加盟以降の経済発展について検証する。経済史を数量的・比較的に理解することを目的とする。
試験・課題等	期末試験(60%)により知識と理解度が測られるほか、レポートや授業内発表(40%)を通じて分析力と批判的思考力も評価される。単なる暗記ではなく応用力が必要となる。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Espanyol per als negocis	ビジネススペイン語
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in International Business
履修期間	2024/11/28~12/3(例年 10 月頃に履修登録期間が設けられるが、スペイン東部バレンシア州の洪水により 1 ヶ月程延期された。)
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と演習をバランスよく取り入れた実践的な授業であり、商談や会議のシミュレーションを通じて、実際のビジネス現場に即したスペイン語表現を学ぶ。学生はロールプレイやグループ活動を通じて積極的な参加を求められる。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	TORMO SOLER, ANA MARIA
授業内容	ビジネス文書の作成、交渉やプレゼンテーションでの発言方法、会議の運営などを中心に、職場で必要とされる実務的な言語スキルを習得することを目的とする。単なる語学ではなく、ビジネス文化や慣習への理解も重視される。
試験・課題等	筆記試験に加えて口頭試験やプレゼン発表、課題提出などが行われ、知識だけでなく実際の表現力や応用力が多角的に評価される。継続的な学習姿勢が求められる科目である。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Comptabilitat internacional	国際会計学
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in International Business
履修期間	2024/11/28~12/3(例年 10 月頃に履修登録期間が設けられるが、スペイン東部バレンシア州の洪水により 1 ヶ月程延期された。)
単位数	6.0
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	理論を中心とした講義と、国際会計基準を用いた演習や事例研究が組み合わされており、会計知識を体系的に学びながら実際の問題解決にも応用できるように設計されている。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	RODRIGUEZ COLLELL, VICENTE ANTONIO
授業内容	国際会計基準(IFRS)を中心に、米国基準など他の枠組みとの比較を行い、企業の財務諸表作成や分析を実際のケースを通して学習する。多国籍企業における実務上の課題や会計処理の相違についても理解を深める。
試験・課題等	期末試験で理論的理解を測るとともに、ケーススタディに基づいたレポートや課題を通じて、実践的な分析力や判断力が評価される。正確性に加え、応用力や批判的視点も重視される。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Direcció estratègica dels recursos humans		人的資源戦略論	
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics/Degree in Business Management and Administration		
履修期間	2024/11/28~12/3(例年 10 月頃に履修登録期間が設けられるが、スペイン東部バレンシア州の洪水により1ヶ月程延期された。)		
単位数	6.0		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義による理論的な解説とともに、グループディスカッションやケーススタディを多用し、実際の人事戦略を考える力を養う。協働的学習を重視し、学生が主体的に意見交換を行う場面が多い。(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回		
担当教授	OLTRA COMORERA, VICTOR		
授業内容	採用、研修・育成、評価制度、報酬やモチベーション管理といった人材マネジメントに関する理論と実践を扱う。組織戦略との関係性を分析し、人的資源が企業競争力に与える影響について理解を深める。		
試験・課題等	筆記試験に加え、グループワークやケーススタディの発表が成績評価に大きく影響する。個々の知識だけでなく、チームでの協働力や実践的課題解決能力が重視される。		
感想を自由記入			

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3 年次に 1 年間ほど留学し、留学中ではなく帰国後に本格的に就職活動を始めようと考えている方は、5~7 月に実施される夏季インターンシップの申し込み間に間に合うよう、生活に慣れて時間を確保できるようになった段階で、少しずつエントリーシートの作成を進めておくこと。また、就職活動用の証明写真やスーツ一式は必ず持参し、Web テストの学習や業界・企業研究については、可能な限り留学前に済ませておくことが望ましい。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	語学試験の勉強
	4 月 ~ 7 月	語学試験の勉強
	8 月 ~ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ~ 12 月	大学間協定留学の学内選考
留学開始年	1 月 ~ 3 月	出願
	4 月 ~ 7 月	滞在先確保、航空券購入、ビザ申請・取得
	8 月 ~ 9 月	渡航
	10 月 ~ 12 月	1 学期目の中間試験
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	1 学期目の期末試験
	4 月 ~ 7 月	2 学期目の中間・期末試験、航空券購入、帰国
	8 月 ~ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ~ 12 月	語学試験(英語:IELTs・TOEIC, スペイン語:DELE)

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先の国・大学を選んだ大きな理由の一つは文化への関心でした。特に、日本との比較を通じて異文化理解を深め、衣食住や生活習慣を通じて価値観の違いを学びたいと考えていました。実際に現地の人々の生活に触れる中で、日本の当たり前が海外では当たり前ではないこと、その逆もまた然りであることを実感し、そうした違いを通じて日本の良さを再認識することができました。

スペインの温暖で過ごしやすい気候や、人々の社交的でおおらかな性格も魅力の一つでした。

さらに、スペインは EU 圏内であるため、ERASMUS プログラムを通じてヨーロッパ各国から多くの留学生が集まっており、多様な価値観や考え方に触れることで、自分自身を見つめ直す大きな学びとなりました。

また、結果的にアジア人や日本人が少ない環境だったことで、積極的に交流する姿勢が求められ、そのことが語学力の向上にも繋がったと感じています。

留学生活では、予想もしない出来事に必ず直面します。私自身、バレンシア到着後まもなく、住んでいたアパートの近くで過去数十年で最悪規模の洪水が発生し、数週間にわたり水や食料が不足し、シャワーや水道も満足に使えない不便な生活を余儀なくされました。さらに、スペイン全土で発生した大規模な停電では、スペイン南部からの旅行の帰路の便がキャンセルされ、インターネットも通じず、電車の再開の見通しも立たない中、やむなく駅のホームで一夜を明かすことになりました。それだけにとどまらず、こまめに掃除や洗濯をしていたにもかかわらず、友人の部屋から移ってきたと思われる Bed bug が発生し、駆除業者に依頼した上で布製品を高温で何度も洗濯・乾燥し、さらに繁殖防止のため数ヶ月間衣類などを袋で保管するなど徹底的な対応を迫られました。不運にも、自分だけが全身を刺され、病院で診察を受けることにもなりました。

このように数々の不測の事態に直面しましたが、「海外では何が起きても不思議ではない」という心構えを持っていたおかげで、冷静に対処し乗り越えることができました。その過程で、フラットメイトの存在は非常に大きく、困難な状況でも相談できる心強い支えとなりました。

どんなに大きな問題が起きても、最終的には必ずなんとかなるものです。今回の私の経験はかなり特殊なケースかもしれませんが、留学中には誰も予期せぬ課題に直面します。大切なのは、それに屈することなく、自分の関心や挑戦したいことを諦めない姿勢を持ち続けることだと考えています。私自身も困難な状況下においても、できる限り友人の誘いには応じ、人との繋がりを大切にしました。そして、新しい文化や価値観に触れるために 1 人で近隣諸国を旅行し続けました。

こうした数々の経験から、私は逆境を乗り越える中で柔軟性と学びや挑戦を恐れない強さを培うことができたと感じています。

留学では、予期せぬ課題や困難も含め、あらゆる出来事が自己成長の糧となります。一つ一つの経験を積み重ねることで、より大きな成長へと繋がっていきます。新しい環境を前向きに楽しむ姿勢を持ち続けてほしいと思います。